

2025年度第2回大阪税関見学を開催しました

2025年11月18日(火)、関西国際空港にて、大阪税関見学を開催しました。

法学部1年生3名、2年生2名、3年生4名の計9名が参加しました。

参加者は、事前にYouTubeの税関チャンネルの動画「3つの使命を胸に日本の未来を守る」を視聴し、税関の仕事について予習したうえで見学会に臨みました。

関西空港駅で集合し、税関の担当者と共にCIQ合同庁舎へ移動しました。CIQとは、税関(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)の略で、日本の水際に関連する様々な役割を担う人たちが活躍しています。



麻薬探知犬デモ 鞆についた僅かな麻薬のにおいに反応しお座りするシュウ号

まず、麻薬探知犬が登場し、旅客検査の様子をデモンストレーションしてくれました。その探知の速さと正確さに、参加者は皆驚いていました。



麻薬を発見したご褒美に大いに遊んでもらうシュウ号

違法薬物を隠していた物品や、知的財産侵害物品の展示説明を受けました。実際にブランド品等の本物と偽物に触って、どちらが本物が当てるクイズを出していただきましたが、全員で相談して決めた答えて5問中2問しか当てることができず、手口の巧妙さや摘発の難しさを体験することになりました。

空港に移動し、入国検査場を見学させていただきました。旅具総括の担当者が入国検査場の機器などの説明をしてくださいました。普段は入れない場所・見られない機器を見学させていただきました！

最後は会議室に戻り、質疑応答の時間がありました。たくさんの質問にお答えいただき、税関の職務が多岐に渡ることなど、実例を交えて教えていただきました。

全部で2時間を超える行程でしたが、内容が濃くあつという間の見学会になりました。

参加者からは、税関の業務を間近で知ることができ面白かった、麻薬探知犬とハンドラーのデモンストレーションが印象に残った、どの法令をどのようにして使って摘発まで動いていくのかを簡単に説明していただけたのが良かった、などの声が寄せられました。

来年度も税関見学を開催予定です。人数に限りがありますが、是非皆さんに体験していただきたい内容ですので、奮ってご応募ください。



隠匿具展示説明 様々に工夫を凝らして違法物品が隠されているのが摘発されています